# 森林の風 樹木図鑑　Ｎｏ．５

| ウリハダカエデ<br>＜瓜膚楓＞ | 学　名　Acer rufinerve<br>別　名<br>分　類　カエデ科カエデ属（落葉高木）<br>分　布　本州、四国、九州（屋久島まで）<br>用　途　庭木、家具・器具材 |
|---|---|
| 解　説 | 山地に普通に生え、高さ8～10㍍になるが、大きいものは15㍍に達する。樹皮は暗緑色で、マクワウリの実に似ているのでこの名がある。枝は緑色で毛はなく、なめらか。葉は対生し、長さ10～15㌢で質はやや厚く、上部が浅く3裂する。中央裂片は広三角形で大きく、先端は鋭くとがり、ふちには細かい重鋸歯がある。裏面ははじめ脈に沿って褐色の軟毛があり、脈の基部の毛はあとまで残る。葉柄は長さ2～6㌢で褐色の毛がある。5月頃、葉と同時に細長い総状花序を垂らし、淡緑色で直径8～10㍉の小さな花を開く。雌雄異株。花弁と萼片はともに5個。花弁は長さ3.5㍉ほどで萼片よりやや大きい。雄しべ8個あり、雌花ではごく短く、花粉はほとんどない。子房は太く、花柱は2裂して内側に巻きこむ。小花柄や花軸には軟毛がある。翼果は無毛で長さ2～3㌢あり、斜めに開く。葉に白い斑が入る品種をハツユキカエデ＜初雪楓＞f.albolimbatumといい、庭などによく植えられているが、福島県などにまれに自生している。 |

枝・葉

幹

花

実